

認知症応援ガイド

知る、備える、認知症

「認知症応援ガイド」は、認知症に関する様々な情報を紹介しています。
認知症と初めて向き合うとき、なにを見ればいいのかと悩まれたとき、
まず、この冊子を手にとりて頂ければ幸いです。

表紙をめくって
認知症チェックリストを
やってみよう！



日進市
NISSHIN

健やかになっしん宣言

「私がつくる みんなつながる 健やかになっしん」

発行 : 日進市 福祉部 介護福祉課
企画・編集 : 日進市認知症地域支援推進員

2026年3月発行

認知症かもしれないと不安を抱えている人へ

以下のリストでは認知症の症状やその特徴を記載しています。認知症の始まりではないかという言動を、実際に介護してきた家族の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中で認知症に気づくめやすくなります。いくつか該当する項目がある場合は、かかりつけ医や地域包括支援センター（P17）などに相談しましょう。該当する項目がなかった場合も、生活習慣を振り返り、認知症の予防に取り組みましょう。

家族がつくった

「認知症」早期発見のめやす 認知症チェックリスト

もの忘れがひどい

- ☐ 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- ☐ 同じことを何度も言う・問う・する
- ☐ しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- ☐ 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

判断・理解力が衰える

- ☐ 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- ☐ 新しいことが覚えられない
- ☐ 話のつじつまが合わない
- ☐ テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・場所がわからない

- ☐ 約束の日時や場所を間違えるようになった
- ☐ 慣れた道でも迷うことがある

人柄が変わる

- ☐ 些細なことで怒りっぽくなった
- ☐ 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- ☐ 自分の失敗を人のせいにする
- ☐ 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が強い

- ☐ ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- ☐ 外出時、持ち物を何度も確かめる
- ☐ 「頭が変になった」と本人が訴える

意欲がなくなる

- ☐ 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- ☐ 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ☐ ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

出典／公益社団法人認知症の人と家族の会

家族や周囲の人にもチェックしてもらいましょう

忙しいときや落ち込んでいるときに症状が出やすくなる場合もあります。いつ頃から見られるようになったか、これまでに比べて頻度が高くなったかなどの変化に注目しましょう。

認知症は予防できる？

認知症の発症や進行は、生活習慣に密接な関わりがあると言われています。
生活習慣病（高血圧症、糖尿病など）を予防し、運動や食事などの生活習慣を整えましょう。

次ページで自分の生活習慣を振り返ってみましょう

バランスの良い食事や、
口腔ケアを心がけましょう



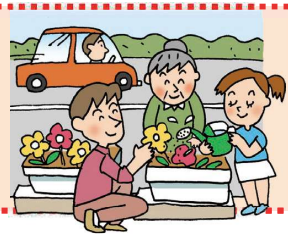
ウォーキングや体操など
適度な運動を継続的行いましょう



読書や絵画、囲碁・将棋など
様々な趣味・活動を通して
生活を楽しみましょう

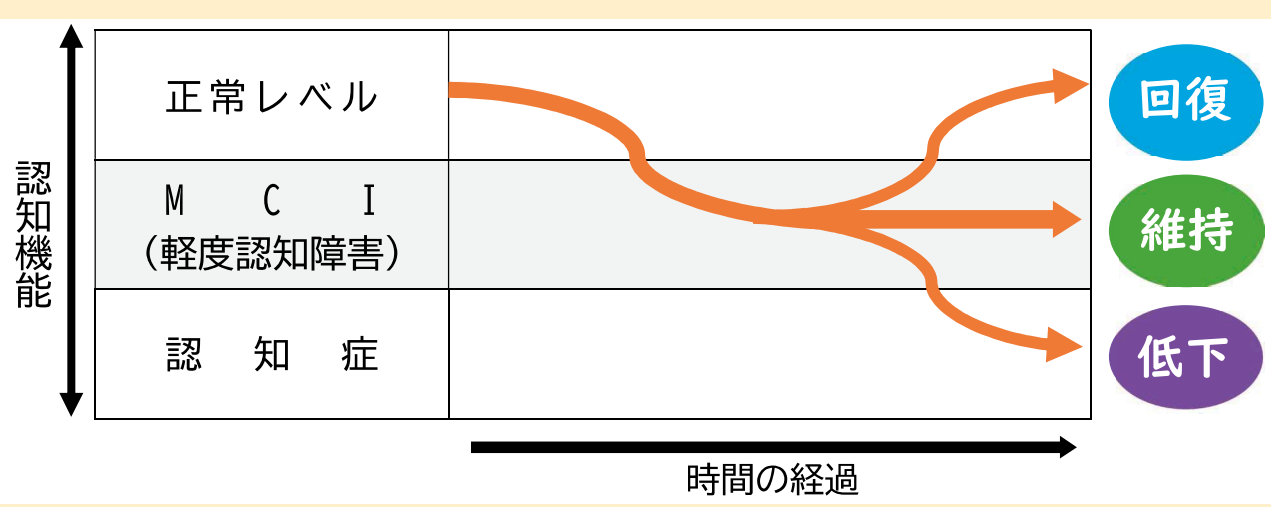


地域の活動などに参加し、
人と積極的に交流しましょう



認知症予備軍のうちに…

認知症はいきなり発症するわけではなく、一歩手前のグレーゾーンがあります。
その段階を MCI（軽度認知障害）といい、認知症予備軍ともいえます。
MCI のうちに対処すれば認知機能を回復したり、維持出来たりすることがあります。



認知症予防とは、認知症にならないということではなく、
認知症になるのを遅らせる、進行を緩やかにする、という意味です。

認知症予防のためにできること

こちらの項目は一例です。無理のない範囲で実践し、心身ともに健康な生活を送りましょう。

食習慣

- ☐ 食塩や動物性脂肪（肉の油、バターなど）を控える
- ☐ 和食中心の食生活をする
- ☐ アルコール・タバコを控える
- ☐ できるだけ自分で調理する
- ☐ よく噛んで食べる



バランスの良い食事とは…

キーワードは

「**さあにぎやかにいただく**」

さかな あぶら にく ぎゅうにゅう やさい かいそう
魚・油・肉・牛乳・野菜・海藻・

いも たまご だいず くだもの
芋・卵・大豆・果物 のうち、

1日7品目以上を摂取するように心がけましょう。

よく噛んで食べることで、脳の活性化、消化を助ける効果があります。

身体活動

- ☐ 1日3,000歩以上歩く
- ☐ 1日30分以上の有酸素運動を週2～3回行う
- ☐ 適正な体重を維持する
- ☐ 1日7時間程度の睡眠をとる



地域の運動教室やサロンなどを活用しましょう。健康診断を受け、自分の身体の状態を知ることも大切です。睡眠不足はアルツハイマー型認知症の原因物質を蓄積させる要因になります。日中にしっかり活動し、良質な睡眠がとれるように心がけましょう。

余暇活動

- ☐ 継続している趣味がある（継続している/新しいことに取り組む）
- ☐ 日記や手紙、読書の感想など自分の考えをまとめて書く機会をもつ
- ☐ 身なりに気をつけ、おしゃれを楽しむ
- ☐ 1日1回は声を出して笑う



意欲的に毎日を過ごすことは、脳の活性化につながります。

笑うことで、血行が良くなり、脳の働きも活発になり、認知症の要因となるストレスを解消することができます。意識して笑うことで、表情筋を動かし、脳への刺激を与えましょう。

地域のつどいの場や回想法を活用するのもよい機会となります。

社会参加

- ☐ 1日1回は外出する
- ☐ 会話を楽しむ
- ☐ ボランティアや地域の活動に参加する
- ☐ 耳の聞こえの変化を意識する



耳からの刺激は、脳機能にいい影響を及ぼすことがわかっています。一方で、耳が聞こえにくくなると、人や社会との関わりが減ってしまったり、日常生活に支障が出たりします。耳の聞こえに心配がある場合は、医療機関に相談しましょう。

病院に行った方が良いかな？と思ったら

日々の生活の中で「あれ？おかしいな？」と思ったら、少しでも早く病院を受診することをお勧めします。早期に診断を受けることで、あなたや家族の準備期間を作ることができます。また、これからの人生を「あなたらしく」過ごすために大切なことです。



かかりつけ医	まずは、かかりつけ医にご相談ください。 普段の状態を把握しているので、変化に気づきやすく、必要に応じて専門医療機関等を紹介することもできます。 ※認知症の相談・診療ができる市内医療機関はP5-6 参照
↓ 認知症サポート医	認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言やその他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる医師で、愛知県が養成しています。 認知症サポート医については、愛知県のホームページをご確認ください。 愛知県 認知症サポート医 
↓ 認知症 疾患医療センター	鑑別診断、症状が悪化した場合の対応などを行う愛知県が指定する認知症の専門機関です。 【尾張東部医療圏】 学校法人愛知医科大学 愛知医科大学病院 (専門医療相談窓口) TEL：0561-61-1878 ※事前予約、かかりつけ医の紹介状が必要です。

病院にかかる時のポイント

気になることを まとめておきましょう

本人や家族からの情報は、診断に欠かせない大切な情報です。
○いつ頃からどのような変化が現われたのか
○これまでにかかった病気
○現在服用している薬
○困っていることは何か など

「病院受診にあたってのメモ」(裏表紙)をご活用ください。

本人が受診に抵抗がある時は

本人が納得したうえで受診することが望ましいですが、ためらいがある場合は工夫が必要です。どうしても受診が困難な時は、家族からかかりつけ医に相談したり、地域包括支援センターにご相談ください。「認知症初期集中支援チーム」(P18)と一緒に受診について支援することができます。
家族からの相談受診に対応している医療機関についてはP5-6をご参照ください。

認知症の相談・診療に対応している市内医療機関

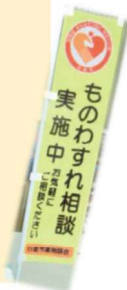
医療機関名	かかりつけ医認知症 対応力向上研修修了者	認知症 サポート医	他機関への 紹介	家族のみの 相談
愛知国際病院		○	○	○
アガペクリニック	○		○	○
いせき内科クリニック	○		○	応相談
うかい医院		○	○	○
金山クリニック	○	○	○	応相談
きまたクリニック	○		○	○
米野木ファミリークリニック	○		○	応相談
笹本内科医院		○	○	○
佐藤クリニック	○		○	応相談
三本木クリニック	○	○	○	応相談
杉上クリニック	○	○	○	○
杉本クリニック	○		○	○
竹の山クリニック	○		○	○
たつらクリニック			○	○
中京スパインクリニック			○	○
つねかわファミリークリニック			○	○
寺島ファミリアクリニック	○			○
なしのきクリニック	○		○	○
にしむら内科	○	○	○	応相談
日進胃腸科・外科	○			○
日進おりど病院	○	○	○	○
坂野内科	○		○	○
ふくしまファミリー内科	○		○	応相談
福友病院		○	○	応相談
みやがわクリニック			○	○

かかりつけ歯科医をもちましょう

歯と口の健康は、食事や会話を楽しむために重要な役割を担っています。また、生活習慣病など身体の健康にも影響します。症状が出てから受診するのではなく、定期的に歯科健診を受け、日頃から気になることはかかりつけ歯科医に相談しましょう。

薬局ものわすれ相談

市内の薬局（市薬剤師会会員薬局）では、薬剤師による「ものわすれ相談」に応じています。ものわすれに不安がある人やご家族に心配がある人は、お気軽にご相談ください。相談日など、詳細は直接薬局にお尋ねください。



訪問診療	その他	
	長谷川式簡易知能評価スケール	他に診断に用いる検査、予約等 ※（ ）内の検査は外部機関へ依頼し実施するもの
○	○	・内科外来で診療 ・MMSE/CT/(MRI)
○	○	・MMSE ・初診は予約必要
	○	・MMSE/(CT/MRI)
○	○	・MMSE/(CT/MRI)
	○	・(MRI)
	○	
○	○	・初診は予約必要
○	○	・MMSE/(CT/MRI)
	○	・(MRI) ・初診は予約必要
応相談	○	・MMSE/(CT/MRI)
○	○	・MMSE/CT/(MRI)
応相談	○	・MMSE/CT/MRI ・初診は予約必要
	○	
○	○	・MMSE ・初診予約は不要だが、即日検査希望の場合は要連絡
	○	・MMSE/CT/MRI/VSRAD ・初診は予約必要
	○	・(MRI)
応相談	○	・初診は予約必要
○	○	・(CT) ・初診は予約必要
	○	・初診は予約必要
応相談	○	
○	○	・認知症外来あり ・初診は予約必要 ・MMSE/CT/MRI
		・初診は予約必要
応相談	○	・(MRI)
	○	・内科外来で診療 ・MMSE/CT
	○	・(CT/MRI) ・初診は予約必要

※掲載は五十音順 ※掲載内容は各医療機関への調査をもとにしています（令和6年6月末時点）

認知症の検査って どんな検査？

長谷川式簡易知能評価スケール/MMSE：質問に答える形の 10～15 分程度の神経心理学検査です。かかりつけ医では この検査で、認知症の診断を行う場合が多いです。

CT・MRI・PET・VSRAD：頭部の画像撮影を行う検査です。

認知症の種類を特定する診断を受けたい場合は神経心理学検査、画像検査の両方を受け、その結果を総合して診断していただくことが重要です。

認知症とは

認知症は特定の病名ではなく、アルツハイマー病や脳血管障害をはじめとした、何らかの病気や障害によって、記憶・判断力など脳の動きが悪くなり、もの忘れなどの症状により日常生活や仕事に支障が出ている状態を言います。

認知症の種類・症状

アルツハイマー型認知症

認知症の中で最も多く、全体の約6割を占めます。

脳の細胞がゆっくりと減少し、脳が委縮（縮んで小さくなること）するためにおこる病気です。

〈症状〉

比較的早い段階からもの忘れ、時間や場所が分からなくなるなどの症状のほか、不安・うつ・妄想が出やすくなります。



脳血管性認知症

脳梗塞、脳出血などにより、脳の神経細胞に栄養や酸素が行き渡らなくなり、その部分の神経細胞が死んでしまったり、神経のネットワークが壊れたりする病気です。

〈症状〉

意欲が低下したり、複雑な作業が出来なくなったりします。

また、もの忘れが強いのに、判断力や理解力は保たれているなど「まだら認知症」と呼ばれることもあります。



レビー小体型認知症

特殊なたんぱく質が脳の神経細胞の中にたまることによりおこる病気です。

〈症状〉

もの忘れに加えて実際に見えないものが見える（幻視）、歩行など動作の障害、大声での寝言や行動化（レム睡眠行動障害）が特徴です。



前頭側頭型認知症

脳の前頭葉（前の方）や側頭葉（横の方）の神経細胞が減少し、萎縮することによりおこる病気です。

〈症状〉

我慢や思いやりなどの社会性を失い、万引きや信号無視など異常な行動が目立ちます。記憶障害や幻覚などの症状は起こりにくいことが特徴です。

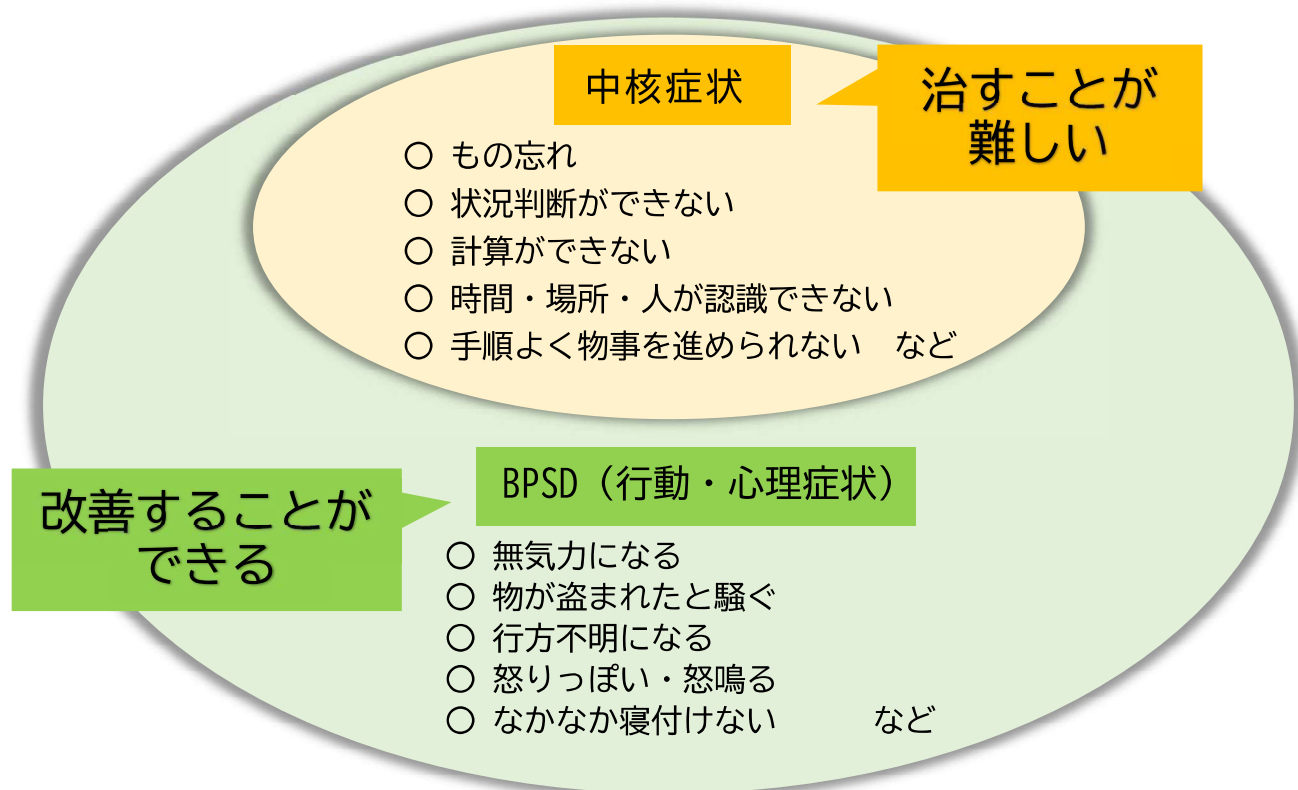


加齢によるもの忘れと認知症の違い

年を取れば誰もが物覚えが悪くなったり、人の名前を忘れてしまったりすることがあります。これらは脳の老化によるものです。しかし、認知症によるもの忘れは脳の神経細胞が壊れてしまうことなどによるもので、老化とは異なります。

	加齢によるもの忘れ	認 知 症
原 因	脳の生理的な老化	脳の神経細胞の変性や脱落
記 憶	体験の一部が思い出せない 例：食事をしたことは覚えているが、 献立が思い出せない (ヒントがあれば思い出せる)	体験したこと全体を忘れる 例：食事したこと自体を忘れてしまう (ヒントがあっても思い出せない)
感 情	大きな変化はない	感情的になりやすい 意欲の低下がみられる
自 覚	忘れたことを自覚している	忘れたことの自覚がない
日常生活	大きな支障はない 自分で対処できる	支障をきたす 自分で対処が難しい

認知症の症状には、必ず現れる「中核症状」と、本人の性格や環境、人間関係などの影響で出現する精神・行動上のさまざまな症状「BPSD（行動・心理症状）」があります。
もの忘れだけが認知症の症状ではありません。



BPSD は中核症状をもとに、本人のもともとの性格や心の状態、人間関係、生活環境の要因が絡み合って出てきます。介護者の接し方や適切な薬物治療により改善が可能です。

若 年 性 認 知 症



65 歳未満で発症した認知症の事です。

高齢者でも若年者でも、病気としては同じであり医学的に大きな違いはありません。「若年性認知症」として区別するのは、この世代が働き盛りであり、家庭や社会で重要な役割を担っていることが多く、病気によって生活に支障が出ると本人や家族だけでなく社会的な影響が大きくなるためです。

若年性認知症で心配されること

経済的なこと

働き盛りで一家の生計を支えている人が多く、休職や退職により、経済的に困窮する可能性があります。

周囲の理解不足

若年で発症する認知症があることが知られていないことや、認知症になったから何もできないと誤解されることがあります。

受診・診断が遅れる

日常生活で支障がでて、疲れや更年期障害、あるいはうつ状態等、他の病気と思い、受診・診断が遅れることがあります。

介護者の負担

主介護者が配偶者となることが多く、子育てや親の介護などと重なることがあります。また、高齢の親が介護者となることもあります。

後の手続き時に
初診日が重要になります

早期受診・早期発見が大切です

自分の病気を理解し、早くから将来に向けた備えを進めることができます。

若年性認知症の相談先について

早期に専門家に相談することで、本人のニーズにあった関係機関との調整や、本人の望む生活を継続するためのサポートを得ることができます。

相談先について、詳しくは P18 をご覧ください。

「ご存知ですか?働き盛りの認知症(若年性認知症について)」：日進市 HP

【相談の一例】

- ・ 専門機関と連携し、企業と話し合うことで、診断後も可能な限り働き続けられることができた。
 - ・ 在職中に必要な制度や社会資源について知ること、医療費助成や障害年金の受け取りができた。
 - ・ 早期退職後に、障害福祉サービスにより就労することができた。
- など



本人の気持ちと接し方

認知症の人は何も分からないのではありません。今までできていたことがうまくできなくなり、何となくおかしいと不安を感じています。誰よりも本人が苦しく悲しい思いをしています。周りの人はこれらのことを理解して接するようにしましょう。

本人の気持ち

- ・ 分からないから聞かないと不安
- ・ 自分に何が起きているのか、この先どうなるのか
- ・ 何でこれができないのか、どうしたいか聞いてほしい
- ・ 突然、自分が今どこにいるかわからなくなった
- ・ 約束をした覚えが全くない
- ・ 自分が大事なものを失くすはずがない
- ・ 家族に迷惑をかけている、もっと役に立ちたい



望ましい接し方



望ましくない接し方

- ・ **穏やかな表情**で余裕をもって対応する
- ・ **目線を合わせ**てから話しかける
- ・ **ゆっくり**1つずつはっきり**簡潔に**話す
- ・ **急かさず**相手の言葉に耳を傾ける

- ・ **険しい表情**や困った顔をする
- ・ 後ろから**急に**声をかける
- ・ 頭ごなしに**否定**する
- ・ **早口**に次々と質問する

認知症の人にとって心地よい環境をつくりましょう

認知症の人は不安やとまどいをたくさん感じています。周りの人がやさしく接することで安心した気持ちになり、認知症の症状が安定しやすくなります。逆に怒ったり責めたりすることは、症状を悪化させることにつながります。

周りの人が接し方を工夫し、認知症の人の心の支えになることが大切です。

認知症そのものは治らないかもしれませんが、周りの理解や接し方で症状が改善するなど、落ち着いた生活を送ることができます。

こんな時、どう接したらよいの？

日付や曜日、予定など同じことを何度も聞く



【本人の気持ち】

- ・ 知りたい、知っておきたい、聞かないと不安になってしまう
- ・ 何度も同じことを聞いているつもりはない

【家族の気持ち】

- ・ 同じことの繰り返しで疲れるし、イライラしてしまう



- 日めくりや予定が書き込めるカレンダーを利用して一緒に確認する
- メモ用紙に書きながら会話する
- 関心をほかにそらす
- ✕ 「また同じ質問！」と感情的になる



いつもの散歩道で迷ってしまった

→P16 参照

【本人の気持ち】

- ・ 突然、自分が今どこにいるのか分からなくなった
- ・ このままでは家に帰れなくなるという不安から、パニック状態になってしまう

【家族の気持ち】

- ・ いつもの散歩道だから、まさか道に迷うなんてことは・・・



- 外出の理由を聞き出し、本人の意向に沿って対応する
- できれば同行し、会話をしながら気分転換を図る
- ✕ 部屋に閉じ込めるなど、外出できないようにする
- ✕ 外出を無理やり引き止める

「ものを盗まれた」と家族を犯人扱いする



【本人の気持ち】

- ・ 自分が大事なものをなくすはずがない、家族の誰かが盗んだに違いない

【家族の気持ち】

- ・ なくすだけならまだしも、盗んだと家族が疑われるのは悲しい



- 本人の訴えを真摯に聞く
- 味方になって一緒に探す
- 本人が見つけれられるよう工夫する
- ✕ 盗んでいないことを言葉で説得する
- ✕ 頭ごなしに否定する
- ✕ 本人より先に見つけ出して教える

得意なことができなくなった



【本人の気持ち】

- ・あまり難しい作業とは思えない、それなのに何から始めたらよいか分からない
- ・期待に応えようとすると余計に焦ってしまう

【家族の気持ち】

- ・簡単な作業までできなくなるとは思えない



- 声をかけながら1つの作業を一緒にやってみる
- 本人のできている個々の作業を認め、自信を取り戻すサポートをする
- ✕ 同時に2つ以上の作業を行うよう促す
- ✕ 「以前はできていたのに」という自尊心を傷つける言葉を出す

トイレの失敗が増えた



【本人の気持ち】

- ・また間に合わなかった、情けない
- ・尿意や便意を感じないことがある、トイレの場所が分からないことがある

【家族の気持ち】

- ・毎日とても大変、うまく対応できない
- ・トイレを汚すことが増えたが、おむつを使った方がいいのだろうか



- 起床時、毎食後、入浴前、就寝前など決まった時間にトイレまで誘う
- トイレの場所が分かりやすいように貼り紙をするなど工夫する
- 経験者の話を聞いて参考にする
- ✕ すぐに紙おむつを使う
- ✕ 嫌な顔をし、失敗をとがめる



病院の受診を嫌がる

→P4-6 参照

【本人の気持ち】

- ・自分はどこも悪いところなんてない、なぜ病院に行く必要があるのか

【家族の気持ち】

- ・これ以上認知症が進行しては困る、早く病院で診断してもらいたい



- ほかの不調な部分を理由に誘う
- 家族の受診の付き添いとして誘う
- まずは家族だけで受診する
- ✕ 本人の意思を無視して受診日を強引に決める
- ✕ 何度もしつこく誘う

認知症の経過と支援

認知症は下表のように進行していき、その段階ごとに適切な「いつ」「どこで」「どのような」医療や介護、相談が受けられる。

	自立	認知症の心配	見守り・日常生活
認知症の症状に伴う様子		- もの忘れが増えている - 自覚がある - 計算間違いや誤字脱字などが増える	- 何度も同じことを繰り返す - 人や物の名前が思い出せない - 置き忘れや盗み - 料理や買い物が難しい
本人と家族のための生活のヒント	- 健康づくりや介護予防に取り組む - 地域とのつながり（社会参加）を大切にする - これからの暮らし方、「もしも」の時の医療やケアについて、個人の希望を周囲と共有する	- もの忘れなど気になる症状があったら早めにかかりつけ医に相談する - 各種窓口で相談し、認知症についての情報を得る 	- 介護保険の申請を検討する - できることを実践できる人、地域の助けを借りて生活する
相談	市役所（介護福祉課・地域福祉課）、地域包括支援センター、認知症初期集中支援チーム（P36）、社		
医療	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ		
予防・社会参加	ボランティア活動、介護予防教室（P 30-31）、サロンや地域健康診断、生涯学習活動、シルバー人材		
生活支援	配食サービス（P31）		
地域の見守り	くるりんばす無料パスカード		
介護	紙おむつ購入		
住まい	日常生活自立支援事業、成年後		
	民生委員、認知症サポーター、認知症		
	認知症家族交流会（P 39）、認知症家族		
	すべて介護保険のサービスです。		
	訪問介護、通所介護、小規模多機能、電動ベッ		
	自宅（住宅改修費支給 P21）、軽費老人ホーム（グループホ		

※それぞれの詳細は「にっしん健康長寿 応援ガイド（令和8年3月発行）」
 ※サービスや事業は一部を抜粋して紹介しています。

な支援や利用できるサービスがあります。
られるのか参考にしてください。

認知症があれば 日常生活は自立	日常生活を送るには 支援や介護が必要	常に医療・介護が必要
認知症のことを聞く 名前が出てこない やさしい忘れが増える い物、金銭管理など	・「物を盗られた」などの発言をする ・着替えが上手くできない ・家までの帰り道が分からない ・ものの忘れの自覚がない	・食事やトイレ、入浴などの行為が1人ではできない ・車いすやベッド上での生活になる ・言葉数が少なくなる
サービスの利用を と、やりたいことが るように、家族や友 の人など、見守りや てくれる人を増やす	・本人の役割をすべてとりあげず、できることはしてもらう ・介護による疲労をためないよう、人の助けを借りる ・通所サービスの他、訪問サービスや宿泊サービスなどを検討する	・本人が安心できる環境づくりを心がける ・最期の迎え方について家族で話し合う
		
（P29）、居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）、認知症地域支援推進員 会福祉協議会、尾張東部権利擁護支援センター（P43）		
薬局、認知症サポート医等医療機関、認知症疾患医療センター		
の集まり（P46-48）、認知症カフェ（P35）、 オセンター（P48）など		
認知症本人交流会（P35）		
（P49）	移動支援【福祉有償運送】（P49）	
入助成券支給（P33）、ごみ出し支援【エコサポート】など（P34）		
後見制度（P43）		
やさしい手ネットにつしん情報配信システム（P37）、GPS サービス費助成（P38）		
支援プログラム		
訪問入浴、訪問リハビリ、居宅療養管理指導、訪問看護 （デイサービス）、通所リハビリ（デイケア）・短期入所（ショートステイ）（P12-15） 機能型居宅介護（P19） ・手すり・車いす等レンタル【福祉用具貸与・購入】（P20）		
ケアハウス）、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム		
ーム（P18）、老人保健施設、介護医療院、特別養護老人ホーム（P16）		

をご覧ください。（ ）内に参照ページを記載しています。



日進市の事業の紹介

自分の気持ちを話したい、相談したい

N-cape (認知症カフェ)	認知症カフェは認知症の人、家族介護者、地域住民、専門職など誰もが気軽に集える場所です。また、N-cape とは、日進市内で開催する認知症カフェの総称です。
認知症家族交流会	認知症の人を介護している家族が、お互いに悩みを相談し、情報交換ができる場です。
介護者のつどい (ひだまりの会)	認知症に限らず、介護をしている人、経験した人がお互いの悩みや体験談、介護のコツ、趣味などを自由に話し合う会です。
問合せ先：介護福祉課（TEL：0561-73-1484）	



認知症・介護について学びたい



認知症サポーター 養成講座	認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る「認知症サポーター」を養成しています。
認知症家族支援 プログラム	知識の習得・仲間づくり・個別相談など認知症の人と安定した生活が過ごせるよう支援する講座です。（隔年開催）
やさしい介護教室	介護で困る前に知っておきたいテーマについて、専門職の講師から話を聞くことができます。（年2回程度開催）
問合せ先：介護福祉課（TEL：0561-73-1484）	

大切な方への絆ノート（エンディングノート）

自分に「もしも」のことが起こった時に備えて、大切な方へ想いを託すノートです。自分史を振り返り、病気や介護状態になった時のことやお墓・葬儀についての希望などを書くことで、今後どのように生きていきたいのか考えるきっかけにもなります。

配布場所：介護福祉課またはお住まいの地区の地域包括支援センター
※市ホームページからダウンロード可能です。





家族のひとり歩きが心配

※行方が分からなくなったらまずは警察（110 番）に連絡をお願いします。

認知症やさしい手ネット につきん情報配信システム	認知症を理解してくださる人にあらかじめメールの受信登録をしていただき、認知症の人が行方不明になった時に、その人の特徴（年齢、性別や服装など）をお知らせして、地域で発見・保護できるように協力していただく仕組みです。 行方不明となるおそれがある人の情報を、あらかじめ登録しておくことができます。
につきんあんしん補償 （認知症高齢者等 個人賠償責任保険）	やさしい手ネットにつきん登録者で、日常生活での偶発的な事故等により、法律上の損害賠償責任を負った場合に、支払われなければならない賠償金を市が加入する保険で補償する制度です。
みまもりシールにつきん （認知症高齢者等 保護情報共有サービス）	やさしい手ネットにつきん登録者で、みまもりシールにつきんの配布を希望する人に QR コードのついたシールを配布します。衣類等に貼った QR コードが読み取られると、ご家族に発見通知メールが届き、保護の手助けとなります。
認知症高齢者等 位置情報提供（GPS） サービス費助成	認知症により行方不明となるおそれのある人とその家族が、市と協定を締結した事業者の位置情報提供サービスを利用する場合に初期費用の一部を助成します。
問い合わせ先：お住まいの地区の地域包括支援センター（P17）	

ほかにも、こんな取り組みを行っています。

【認知症地域支援推進員】

認知症の人や家族が安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域の声を集めて活動しています。



【日進市高齢者等地域見守り推進事業協力に関する協定】

高齢者等が安心して暮らせる地域づくりを目指し、民間事業者等の見守り推進事業協力に関する協定を締結しています。

【認知症高齢者等行方不明時搜索模擬訓練の開催支援】

認知症についての理解を深め、地域の皆さんの連携を確認するために実施しています。

問合せ先：介護福祉課（[TEL:0561-73-1484](tel:0561-73-1484)）

市ホームページもご覧ください。

地域包括支援センター

お住まいの地区によって相談先が異なりますので、ご確認ください。

↑地図が
開きます

↑地図が
開きます

↑地図が
開きます

日進市役所

〒470-0192 日進市蟹甲町池下268

TEL: 0561-73-7111 (代表) FAX: 0561-72-4554

介護福祉課 (介護保険について)

TEL: 0561-73-1495 (直通)

介護福祉課 (介護予防について)

TEL: 0561-73-1484 (直通)

日進市社会福祉協議会

地域の民間福祉活動の拠点として、地域福祉を総合的・計画的に推進することを目的に設立された民間非営利組織です。サロンやボランティア活動に関する相談などをお受けしています。

TEL: 0561-73-4885 FAX: 0561-73-4954

特定非営利活動法人尾張東部権利擁護支援センター (愛称: あすライツ)

判断能力が十分でない高齢者や知的・精神障害のある人の財産や権利をまもるために、尾張東部5市1町 (瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市および東郷町) の委託を受けて運営しています。

TEL: 0561-75-5008 FAX: 0561-75-5088

日進・東郷消費生活センター

悪徳商法、架空請求、訪問販売などに関するあらゆる相談をお受けしています。

TEL: 0561-56-0039

公益社団法人 認知症の人と家族の会 愛知県支部

「認知症でも安心して暮らせる社会」を目指し、認知症の本人とその家族を支援する全国組織です。介護者の交流の場や、認知症介護の電話相談などを行っています。

TEL: 0562-33-7048

TEL: 0562-31-1911 (認知症介護相談)

若年性認知症疾患コールセンター

若年性認知症専門の相談窓口です。専門の相談員が、本人や家族、関係機関からの相談に対応します。

TEL: 0800-100-2707

認知症初期集中支援チーム (やさしい手にっしん)

認知症の人や認知症の疑いのある人、その家族をサポートするために、医療・介護の専門職によって構成されたチームです。認知症に関する心配ごとの相談、適切な医療・介護サービスの紹介等を行います。家族からの相談も受け付けています。

問合せ先: お住まいの地区の地域包括支援センター

または 初期集中支援チーム (0561-73-4890)





病院受診にあたってのメモ

記入日 年 月 日

① いつ頃からどのような変化がありましたか？

いつ

どのような変化

② 症状が出はじめた頃に、気になるようなきっかけや病気、事故などがありますか？

③ 変化に気付いてからこれまでに、進行・悪化した症状はありますか？

④ これまでにかかった病気はありますか？

⑤ 現在、治療中の病気はありますか？

⑥ 現在、服薬している薬はありますか？

⑦ 自分（本人）が困っていることはありますか？

⑧ 家族として、心配なこと、気がかりなことはありますか？

⑨ その他、聞きたいことや伝えたいこと

医療機関（受診先）の方へ

1 ページに認知症チェックリストがあります。併せてご参照ください。